

子どもの心を知ろう

学校現場で教育相談に長年携わってこ

本学教員著書

られた梅原先生と一緒に編集したものです。“いつもイライラして口答えばかり…” “とつぜん暴れだす” など、タイトルにあるように、子どもの様子が気になった時に、保護者や教師がどう対応したらよいかを、現職の先生方からの具体的事例をもとに示したものです。子どもの様子をイラストで示し、わかりやすいのと、各項目に臨床心理士からワンポイントアドバイスがあるのが大きな特徴です。(教育相談・久芳美恵子)



◎イラスト版こころのケア—子どもの様子が気になった時の49の接し方(久芳美恵子、梅原厚子編著、合同出版、2006年)

本に書いてあることを鵜呑みにしていませんか？

夏井裕明) 本に書いてあることを鵜呑みにせず、自分のこれまでの知識や経験から内容を論理的に吟味し、納得がいかなければさらに他の本に当たってみる、

こういふことの積み重ねが大学で教育を受けている人たちに求められているのではないのでしょうか。(運動医学・夏井裕明)

先日あるテレビ番組で「納豆にダイエット効果がある」という内容の放送があり、スーパーの店頭から納豆が売り切れて姿を消すということがありました。しかしその後、番組の内容は捏造と判明し、今度は納豆を増産した業者が在庫を抱えて困り果てたということです。



DVD・ビデオ入荷情報

◎デートDV—相手を尊重する関係をつくる (VHS)

高校生など若い恋人同士の間で起きる暴力(DV=ドメスティックバイオレンス)の防止教育ビデオ。ビデオでは、DVには①身体的暴力、②精神的暴力(予定を勝手に決める、メールを消す)、③性的暴力、④経済的暴力が含まれていることを伝えている。身近な問題なのに意外と知られていないDVについて、ビデオで学び自分や周りの人達がDV被害者とならないように知識を深めてください。(図書館アルバイト・横尾亜希子)



◎庶民児童文化の原点「紙芝居大全集」(VHS)

紙芝居は、昭和の児童文化の一角を占めたもので一時代を築きました。しかし、テレビ等の台頭で今ではすっかり廃れてしまいました。このビデオはその「紙芝居」を実演付きで「芸」としての文化財として継承するために、後世に残そうとして企画・発売されたものです。現在、幼児教育の現場で紙芝居は有効な教育手段として残っています。是非、「芸」としての「紙芝居」の一端に触れ、再認識してみませんか？(司書・神月博)



制作・NHK情報ネットワーク

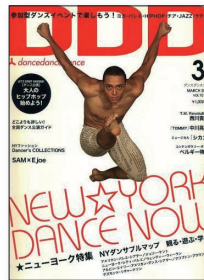
雑誌情報

◎「DDD dance dance dance」(隔月発行)

DDDはファッションからフィットネス、あるいはアートまで様々な側面からダンスの魅力を伝えてくれるような雑誌です。

今注目のダンサーへのインタビュー記事やワークショップ、公演などの情報もこの一冊に盛り込まれています。

2ヶ月に1回の発行ですが、普段コンビニなどではなかなか手に入れることのできない雑誌なので図書館に置いてあるのを毎回楽しみにしています。写真を見ているだけでも楽しめるので、感性を磨きたい方!是非読むのをお勧めします!(学部3年・中嶋麻衣)



フラックス・パブリッシング、隔月刊、2005年7月創刊

Information

図書館カレンダーを確認しよう

図書館では開館時間を延長している期間があります。4月は1時間の延長(月～金まで、土曜日は除く)ですが、試験前や卒業研究提出前などは2時間延長となります。なお、大学の行事によっては一日閉館となる日もあります。掲示や図書館ホームページに図書館カレンダーがありますので、確認してくださいね。(司書・大沢京子)

編集・発行：東京女子体育大学・短期大学 図書館委員会
東京都国立市富士見台 4-30-1 TEL.042-572-4131

TWCPE Library Report

LIVRE

リーヴル

学校法人藤村学園 東京女子体育大学・短期大学附属図書館報
2007.3 No.5

あいたくて 工藤 直子

だれかに あいたくて
なにかに あいたくて
生まれてきた—
そんな気がするのだけれど

それが だれなのか なになのか
あえるのは いつなのか—
おつかいの とちゅうで
迷ってしまった子どもみたい
とほうに くれている

それでも 手のなかに
みえないことづけを
にぎりしめているような気がするから
それを手わたさなくちゃ
だから

あいたくて



撮影・森直幹

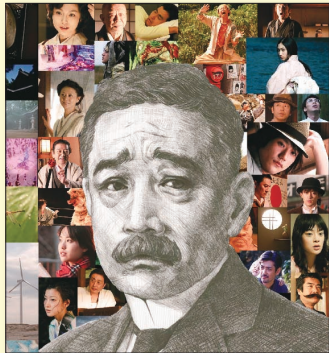
話題の映画・テレビを読む

冬の冬公開された「ユメ十夜」、ご覧になりましたか。「マリー・アントワネット」のように派手に宣伝されたわけでもなく、小さな映画館でひっそりと上映されていたので気がつかない方も多かったかと思いますが…。

「ユメ十夜」に見る漱石の幻想

この映画は、文豪、夏目漱石の「夢十夜」を原作としています。これは明治41年に発表された小説です。時期的には「坊っちゃん」「草枕」より後、「三四郎」より前の作品ですが、これら一連の漱石文学とは趣が異なっています。「こんな夢を見た」という書き出しで、夢の中の出来事を描いた10の短編が集められているのですが、漱石にもこういう幻想的な小説があったのかと驚かされます。彼は生前、「自分は、作品を100年後の人々に理解してもらおうと思う野心家である」と言っていました。それだけ時代を先取りした感覚で創作しているという自負があったのです。そして「夢十夜」が書かれてからほぼ100年が立つ今、この作品が映画化されました。果たして平成の人たちに受け入れられるのか、漱石はけっこうハラハラしながら天国から見守っているのかも知れません。

今回の映画化では、10の短編とプロローグ・エピローグを11人の監督が別々に製作しています。一人の持ち時間が10分、お互いに他の人の撮影状況を知らされませんでした。その監督の中には巨匠の市川崑氏や、テレビのウルトラマンを監督した実相寺昭雄氏もいます。何とぞいたくな企画なのかと思います。映画を見た人、小説を読んだ人、どの話が一番おもしろかったか感想を聞かせてください。ちなみに私の好みは、鎌倉時代と明治時代がごちゃ混ぜになっている第6話です。(国語・田中洋一)



公式 web サイトより (下写真も)



本で出会える

「子どもだったことを忘れない大人」

自分の星を離れ、旅をする星の王子さまは、地球で作者と出会い「大切なものは目には見えないんだよ…」と去っていきます。星の王子さまとはいったい誰なのか？ かつて子どもだったあなた、今こそ読んで欲しい一冊です。(学部4年・藤本和代)

◎新訳 星の王子さま (アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ 作、倉橋由美子 訳、宝島社、2006年)

最初の記憶

書物についての最初の記憶、小学校低学年のころ、母から与えられた童話のたぐいで忘れられない興奮を覚えたのは『アラビアンナイト』。なかでも「アラジンの不思議なランプ」は、ランプをこすると次々に欲しいものが手に入るということで、私の想像力を掻き立てた。毎晩、ふとんのなかに入って寝る前に、天井の羽目板を眺めながら、空想・妄想をたくましくした。病気ばかりしていた虚弱児童の私の、唯一の楽しみ の時間であった。(理事・粕谷一希)

不思議なランプが
想像力を掻き立てる



知性のアンテナも常にバリサンに

基本使用料¥0！充電不要！

いつでも DoCoDeMo ケイタイ BOOK

【知育】人間・社会関係をうまく保つ【徳】

私の専門分野はバレーボール方法論です。学生諸君にバレーボールの素晴らしさや奥深さをできるだけ分かり易く伝えることが、私の使命の一つであるといえます。そのために知識や考え方を新たに学び、私自身を磨くものが書物です。選手向け、指導者向け、自己啓発的なものも含めて年間50冊は読む私が、最近「これは！」と感銘を受けたものが「キリカエ力」は、指導力」です。

なかでもサッカー指導者・解説者である永井洋一氏の「知力」章は必見です。近年の大学運動部員による度重なる不祥事を憂い、「スポーツ指導とはスポーツを通じて人づくりをすること。少年少女期に、神経系に刺激を与え技術を高める【体育】、科学的な思考を身につける【知育】、人間・社会関係をうまく保つ【徳】

キリカエ力
は、指導力
常識も理屈も
吹っ飛ばす
コーチング

平尾誠二 著
永井洋一 監修

◎キリカエ力は、指導力・常識も理屈も吹っ飛ばすコーチング平尾誠二・監修、挿絵豊嶋 2005年

生きる力を育む体育・スポーツ

日本語の成り立ちを知る

この本は、今から四十年ほど前に、当時新進気鋭の国語学者によって書かれました。本の前半には、「うつくしい」とか「かなしい」「やさしい」など、私たちが日常よく使う言葉について、その言葉の日本語本来の意味や語源などが、分かりやすく説明されています。更に、その言葉が歴史的にどのような変遷をたどって現代語の中で使われているかなどが、興味深いエピソードなども交えてまとめられています。

この本の後半には、「日本語の歴史」という一章が立てられています。国語学というのは、日本語の成り立ちや特徴、言葉の意味や使われ方の変遷などを研究する地味な学問ですが、ある時期まで、一般の読者向けにこれくらいの分量で日本語の歴史的な変遷をまとめたものがない

正しい言葉を使うために

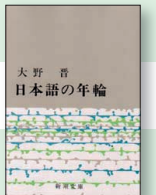
かったため、大学でも、この章段が教科書としてよく利用されました。筆者は国語学の中でも、特にこの日本語の成り立ちや歴史についての専門家です。

私は学生時代に、自分が話す日本語を正しく認識し、使えるようになってほしいと思っています。正しい使い方を身に付けて社会に巣立ってほしいと思っています。そういう意味から、身近な言葉のもともとの意味やその変遷、言葉の成り立ちなどについて、分かりやすく美しい日本語で解説している本書を推薦します。(教育課程・加藤明)

◎日本語の年輪 (大野晋、新潮社、1979年)



◎長距離走者の孤独 (アラン・シリトール著、谷才一・河野一郎訳、集英社文庫、2000年)



◎日本語の年輪 (大野晋、新潮社、1979年)